

平成22年度病虫害発生予報第7号の発表について

向こう 1 か月の主要な病虫害の発生予察情報については、以下のとおりです。

- ・ 水稲では、トビイロウンカの発生が多くなっています。
水稲の株元に成虫及び幼虫を確認した場合は、都道府県病虫害防除所から発表される発生予察情報で防除適期を確認し、薬剤防除を実施してください。
- ・ 大豆、野菜では、ハスモンヨトウの発生が多くなっています。
本害虫の早期発見に努め、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ 果樹では、果樹カメムシ類の発生が多くなっています。
園内の観察をきめ細かく行い、果樹カメムシ類の飛来が認められた場合は、飛来初期からの薬剤防除を実施してください。

病虫害防除に関する留意点

- ・ 病虫害防除を効果的に実施するためには、病虫害の発生状況を的確に把握し、適期の防除につなげることが大切です。病虫害の発生は天候の影響を大きく受けるので、天候の状況に注意しつつ、都道府県が発表する発生予察情報に基づき、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。
- ・ なお、薬剤防除を実施する場合には、薬剤抵抗性を獲得した病虫害が確認されていることに留意の上、適切な薬剤を選択するとともに、病虫害が薬剤抵抗性を獲得しないように、同一系統薬剤の連続使用を避けてください。また、農薬の使用基準を遵守し、薬剤散布の時期に留意するとともに、散布対象外の農作物等に農薬が飛散しないよう対策を講じてください。

水稲

- ・ トビイロウンカの発生は、四国、九州の一部地域で「多い」又は「やや多い」、東海、近畿及び中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本害虫は水田に侵入後 2 ～ 3 世代増殖を繰り返し、急激な密度上昇により収穫期頃に大きな被害を起こします。本田内を注意深く観察し、水稲の株元に成虫及び幼虫を確認した場合は、都道府県病虫害防除所から発表される発生予察情報で防除適期を確認し、薬剤防除を実施してください。

大豆

- ・ **ハスモンヨトウ**の発生は、関東の一部地域で「多い」又は「やや多い」、北陸、東海、近畿、中国、四国及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。ほ場観察を行い本害虫の加害の特徴である白変葉の早期発見に努め、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **吸実性カメムシ類**の発生は、南東北、関東、甲信、北陸、東海、近畿、中国及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。ほ場観察を行い本害虫の飛来を認めたら、適期に薬剤防除を実施してください。

野菜・花き

露地栽培

- ・ 1か月予報（9月3日気象庁発表）では、平年より平均気温が高いと予報されており、害虫の発生に注意が必要です。ほ場観察を行い病虫害の早期発見に努め、適期に薬剤防除を実施してください。

施設栽培

- ・ 1か月予報（9月3日気象庁発表）では、平年より平均気温が高いと予報されており、害虫の発生に注意が必要です。また、気温が高いと栽培管理上施設を開放する機会が増えるので、病虫害の施設への侵入及び野外への飛び出しに注意が必要です。
- ・ 病害の早期発見に努め、伝染源となる罹病葉や罹病果は除去し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ アザミウマ類、コナジラミ類等の施設内への侵入及び野外への飛び出しを防止するため、施設の開口部に防虫ネット等を設置するなどの対策を実施してください。また、アザミウマ類、コナジラミ類等の防除は、これらが媒介するウイルス病対策としても有効です。害虫の早期発見に努め、発生初期での薬剤防除を実施してください。これらの害虫の発生源となる施設内及び周辺の雑草を定期的に除去するよう努めてください。
- ・ また、栽培終了後は蒸し込み処理等を行い、作物残渣での生存虫を死滅させてから搬出し、確実に処分してください。

発生が多い・やや多いと予想される病虫害及び地域

作物名／病虫害名	発生が「多い」地域	発生が「やや多い」地域
トマト		
灰色かび病	東北	
コナジラミ類		北関東、東海、北九州
なす		
うどんこ病		北関東
アザミウマ類	北関東	四国

アブラムシ類	北陸	北関東、近畿
タバコガ類	関東	
ハダニ類		関東、近畿
きゅうり		
うどんこ病		甲信、中国
褐斑病	北東北	四国
べと病		中国
アザミウマ類	北関東	北陸
アブラムシ類	北東北、北関東、北陸	甲信
ハダニ類		北関東
ねぎ		
アザミウマ類	東北、関東、東海、北陸	中国
アブラムシ類		近畿
ハモグリバエ類		東北、南関東、北陸、中国、北九州
いちご		
炭そ病	南東北、関東	東海、中国、北九州
アブラムシ類	北陸	北関東、北九州
ハダニ類	北関東	南東北、北九州
共通		
ハスモンヨトウ	関東、中国	北陸、東海、近畿、四国、九州
きく		
アザミウマ類	北関東	甲信、東海、南九州
アブラムシ類		東海
ハダニ類	北関東	東海、近畿、中国

果樹・茶

果樹共通

- ・ **果樹カメムシ類**の発生は、東海及び九州の一部地域で「多い」、甲信、近畿、中国及び四国の一部地域で「多い」又は「やや多い」、北関東及び北陸の一部地域で「やや多い」と予想されます。

本害虫は、園地周辺の山林から飛来してくるので、例年カメムシ類の被害が多い園地や、山林に隣接した園地では、園内の観察をきめ細かく行ってください。また、飛来が認められた場合は、飛来初期からの防除を実施してください。

かんきつ

- ・ **かいよう病**の発生は、南関東、東海、近畿及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病の伝染源となる発病葉及び発病枝は除去して、確実に園外で処分してください。また、本病は連続した降雨により発病が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
特に、強風による擦れなどの傷口から容易に感染するため、風雨が強まることが予想される場合には、事前に薬剤を散布してください。
- ・ **黒点病**の発生は、四国及び北九州の一部地域で「多い」又は「やや多い」、中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病の伝染源となる枯れ枝は除去して、確実に園外で処分してください。また、本病は連続した降雨により発病が助長されるので、天候の推移に注意し、散布間隔が開きすぎないように降雨の合間を見て薬剤防除を実施してください。
- ・ **ハダニ類**の発生は、中国の一部地域で「多い」、近畿の一部地域で「多い」又は「やや多い」、南関東、東海、四国及び九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
園内の観察をきめ細かく行い、本種の発生量に応じて適期に薬剤防除を実施してください。

りんご

- ・ **斑点落葉病**の発生は、北東北の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病は、気温が高く、まとまった降雨が続くと発病が助長されます。また、密植や徒長枝により通風や採光が悪いと発病が多くなります。徒長枝の除去等により通風や採光を確保するとともに、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **褐斑病**の発生は、北東北の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病は降雨が続くと発病が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。また、本病の発病葉は伝染源となるので除去し、適切に処分してください。
- ・ **黒星病**の発生は、南東北の一部地域で「多い」と予想されます。
発病葉、発病果及び発病枝は伝染源となるので除去し、適切に処分してください。また、降雨が続くと発病が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **炭そ病**の発生は、北東北の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病は降雨により発病が助長されるので、散布間隔が開きすぎないように注意し、適期に薬剤防除を実施してください。また、本病の発病果は伝染源となるので除去し、適切に処分してください。
- ・ **ナシヒメシンクイ**の発生は、「平年並」、**モモシンクイガ**の発生は、北海道の一部地域で「やや多い」と予想されます。
都道府県が発表する発生予察情報を参考に、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。
- ・ **ハダニ類**の発生は、北東北、北関東及び北陸の一部地域で「やや多い」と予想されます。
園内の観察をきめ細かく行い、本害虫の発生に応じて薬剤防除を実施してください。

なし

- ・ **黒斑病**の発生は、「平年並」と予想されます。
本病は、降雨日数が多いと発病が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **黒星病**の発生は、南九州の一部地域で「多い」、東北、関東、甲信及び北陸の一部地域で「やや多い」と予想されます。
発病葉、発病果及び発病枝は伝染源となるので除去し、適切に処分してください。また、降雨が続くと発病が助長されるので、散布間隔が開きすぎないように注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **ナシヒメシンクイ**の発生は、関東の一部地域で「多い」又は「やや多い」、中国及び北九州の一部地域で「やや多い」、**モモシンクイガ**の発生は、南関東の一部地域で「やや多い」と予想されます。
都道府県が発表する発生予察情報を参考に、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。
- ・ **ハダニ類**の発生は、近畿の一部地域で「多い」、北東北、北関東、東海及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
園内の観察をきめ細かく行い、本害虫の発生に応じて適期に薬剤防除を実施してください。

もも

- ・ **せん孔細菌病**の発生は、南東北、北陸及び東海の一部地域で「やや多い」と予想されます。
収穫終了後も越冬伝染源となる感染を防止するため、適期に薬剤防除を実施してください。また、本病の伝染源となる病斑を形成した枝を除去して、適切に処分してください。

ぶどう

- ・ **べと病**の発生は、九州の一部地域で「多い」又は「やや多い」、北東北、北関東、甲信、近畿及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
発病葉及び発病果粒は伝染源となるので収穫後も園地に残さず、適切に処分してください。また、本病は降雨が続き気温が低く経過すると発病が多くなるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。薬剤防除にあたっては葉裏に薬液が十分かかるように実施してください。
- ・ **晩腐病**の発生は、甲信の一部地域で「やや多い」と予想されます。
発病葉及び発病果粒は伝染源となるので収穫後も園地に残さず、適切に処分してください。また、本病は降雨により分生孢子が飛散して発病が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。

かき

- ・ **うどんこ病**の発生は、「平年並」と予想されます。
本病は気孔から侵入するので、薬剤防除は葉裏に十分薬液がかかるよう実施してください。

- ・ **炭そ病**の発生は、北陸、東海、近畿及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病は降雨が続くと発病が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。

茶

- ・ **炭そ病**の発生は、九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病の多発が予想される園では、茶園の管理状況に応じて、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **もち病**の発生は、南九州の一部地域で「多い」と予想されます。
本病の多発が予想される園では、茶園の管理状況に応じて、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **チャノコカクモンハマキ**の発生は、南関東の一部地域で「やや多い」、**チャハマキ**の発生は、南関東の一部地域で「やや多い」と予想されます。
地域の予察灯やフェロモントラップでの誘殺状況を参考に成虫発生最盛日の7～10日後に薬剤防除を実施してください。
- ・ **チャノミドリヒメヨコバイ**の発生は、南関東、東海、近畿及び九州の一部地域で「やや多い」、**チャノキイロアザミウマ**の発生は、南関東の一部地域で「多い」、九州の一部地域で「多い」又は「やや多い」、近畿の一部地域で「やや多い」、**チャノホソガ**の発生は、南関東の一部地域で「多い」、九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
これらの新芽加害性害虫は、気温が高い時期に連続して発生します。新芽の生育状況と害虫の発生状況をよく見極め、同一系統の薬剤の連続使用を避けた上で、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **クワシロカイガラムシ**の発生は、近畿の一部地域で「多い」と予想されます。
本害虫の防除は、適期を外すと防除効果が劣るだけでなく、天敵への悪影響も懸念されます。茶園ごとに幼虫のふ化状況を観察し、防除適期である幼虫のふ化最盛期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **カンザワハダニ**の発生は、九州の一部地域で「多い」又は「やや多い」、近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。
園内の観察をきめ細かく行い本害虫の早期発見に努め、適期に薬剤防除を実施してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

平成22年8月12日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は下記のとおりです。

警報

発表日	都道府県名	作物名	病害虫名
8月30日	宮崎県	水稻	トビイロウンカ

注意報

発表日	都道府県名	作物名	病害虫名
8月12日	福島県	水稲	斑点米カメムシ類
8月18日	香川県	水稲	ミナミアオカメムシ
8月18日	鹿児島県	かんきつ、なし、かき	果樹カメムシ類
8月19日	宮崎県	きゅうり	キュウリ黄化えそ病
8月23日	栃木県	いちご	炭そ病
8月25日	大分県	水稲	トビイロウンカ
8月26日	秋田県	水稲	斑点米カメムシ類
8月26日	茨城県	野菜類	オオタバコガ
8月26日	京都府	水稲	斑点米カメムシ類
8月27日	埼玉県	野菜類、花き類、ダイズ	ハスモンヨトウ
8月30日	北海道	てんさい	褐斑病
9月1日	長崎県	水稲	トビイロウンカ
9月3日	熊本県	かんきつ、かき、なし	果樹カメムシ類
9月6日	鹿児島県	かんきつ、かき、なし	果樹カメムシ類
9月8日	福島県	もも	せん孔細菌病
9月8日	神奈川県	アブラナ科野菜	ハイマダラノメイガ

■ 特殊報

発表日	都道府県名	作物名	病害虫名
8月27日	宮崎県	マンゴー	アカマルカイガラムシ属の一種
9月1日	茨城県	なし	ヒメボクトウ
9月1日	栃木県	ひまわり（鉢物）	アワダチソウグンバイ

用語解説

■ 地域

- ・ 北海道：北海道
- ・ 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

- ・ 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

- ・ 甲信：山梨県、長野県
- ・ 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
- ・ 東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ・ 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- ・ 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- ・ 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ・ 九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

- ・ 沖縄：沖縄県

発生量（程度）

- ・ 多い（高い）：やや多いの外側 10%の度数の入る幅
- ・ やや多い（やや高い）：平年並の外側 20%の度数の入る幅
- ・ 平年並：平年値を中心として 40%の度数の入る幅
- ・ やや少ない（やや低い）：平年並の外側 20%の度数の入る幅
- ・ 少ない（低い）：やや少ないの外側 10%の度数の入る幅

（平年値は過去 10 年間の平均）

平成 22 年度病虫害発生予報の発表予定

- 第 1 号：4 月 22 日（木曜日）
- 第 2 号：5 月 20 日（木曜日）
- 第 3 号：6 月 17 日（木曜日）
- 第 4 号：7 月 8 日（木曜日）
- 第 5 号：7 月 22 日（木曜日）
- 第 6 号：8 月 12 日（木曜日）
- 第 7 号：9 月 9 日（木曜日）
- 第 8 号：10 月 7 日（木曜日）
- 第 9 号：11 月 11 日（木曜日）
- 第 10 号：2 月 17 日（木曜日）

お問い合わせ先

消費・安全局植物防疫課

担当者：防除班・黒谷、金武

代表：03-3502-8111（内線 4562）

ダイヤルイン：03-3502-3382

FAX：03-3502-3386

当資料のホームページ掲載 URL

<http://www.maff.go.jp/j/press/>